



2011年8月9日

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 日興・スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型・資産成長型）の 運用状況について

日興・スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型・資産成長型）（以下、当ファンド）の直近の運用状況をお知らせします。

### 【直近の市場環境について】

8月に入り世界の株式市場は、不安定な状況が続き、8日時点で米国のNYダウ工業株30種平均が前月末比-11%、英国のFTSE100指数が同-13%、欧州のEuro Stoxx 50指数が同-14%と大幅に下落し、日本株式市場においても、9日時点で日経平均株価が同-9%と大きく下落しています。

今回の世界的な株式市場の混乱は、欧米での債務問題が発端となっています。欧州では、イタリアやスペインの国債に波及した債務危機により、それらを保有する欧州の金融機関への悪影響まで懸念が及んでいます。また、米国では、5日の株式市場引け後に、米格付会社スタンダード・アンド・プアーズ（S&P）が、米議会で2日に合意された歳出削減の規模が不十分であるとの判断から、米国の長期債務格付けを「AAA」から「AA+」に引き下げることを発表しました。そして、注目されていた同日発表の7月米雇用統計の数字は市場予想よりも改善された数値が発表されたものの、米国経済がリセッションの入り口に差し掛かっているとの懸念から悪い連想が市場関係者に広がりました。こうした動きを受け、8日、主要7カ国（G7）の財務相・中央銀行総裁は、米国・欧州の金融経済情勢について議論し、G7各国政府が「今後数週間は緊密に連絡を取り、金融市場の安定と流動性確保のため、行動をとる準備がある。」とし、市場で不安定な動きがあれば協調して対応する姿勢を明確にしましたが、現状、市場の動揺を抑えるまでには至っていません。

欧米での債務問題が発端となった今回の金融市場の混乱は、世界中の投資家がリスク回避姿勢を強め、結果としてアジア中東地域の株式市場にも大きく影響しました。8月に入ってからの当ファンドの主な投資対象地域では、アジアでは9日時点で、中国が前月末比-6.5%、香港が同-13.9%、台湾が同-13.3%、韓国が同-15.6%、オーストラリアが同-8.8%、中東地域では8日時点で、ドバイが同-2.9%、モロッコが同-2.2%、カタールが同-2.2%、サウジアラビアが同-5.2%となっています。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



### 【ファンドの現状について】

前月末と比較して、9日時点当ファンドの基準価額は下落していますが、相対的には現在の市場の混乱をうまくしのいでいると思われれます。良いビジネスモデルと健全なバランスシートを持ち、平均以上の配当金の分配能力があり、持続可能な成長の見込みがある企業への集中により、市場全体と比べてファンドの損失を限定させることができていると考えています。

ファンドの下落の主な要因は、株価の下落と為替変動です。現在投資先ファンドでは、約83%をアジア株式に、約13%を中東株式に投資しており、残りの約4%は現金となっています。前月末からのマイナスのパフォーマンスのうち大きな部分はオーストラリアへの投資によるもので、これは豪ドルが日本円に対して前月末から大きく下落したためマイナスの影響が生じたものです。ここ最近の世界の株式市場での大量の売りの中で、投資家はコモディティ関係の市場や通貨へのエクスポージャーを減らしており、結果として株価は大幅に下落しました。また、世界経済への循環的な動きで知られる韓国の株式も大幅に売り浴びせられました。

現在ファンドの投資比率が高い銘柄は、Kangwon Land (韓国/一般消費財)、Zhejiang Expressway (中国/資本財)、Power Assets Holdings (香港/公益事業) などです。これらの企業は、ディフェンシブな銘柄でもあることから、市場全体と比べるとその下落幅は現在のところ限定的となっています。セクターについては、ファンドは主に有料道路、通信、不動産投信、一部の再保険会社、消費関連への投資を継続しています。

### 【今後の運用方針について】

米格付会社 S&P による米国長期債務格付けの引き下げ、欧州の信用不安の継続、潜在的な政策対応 (市場介入、量的金融緩和政策第3弾など) に対するネガティブな心理から、世界の株式市場は短期的には変動の激しい展開が続くと思われれます。正確なタイミングを予測することは難しいですが、世界中の政治家が現在の状況を沈静化させる政策を打ち出すことでしょう。2008年のリーマン危機後に打ち出されたような景気刺激策が実施される可能性もありますが、西欧諸国の財政的な制約から、その規模は大幅に小さくなることも想定されます。世界経済の成長は今後1年間は減速すると思われれます。

しかし、アジアおよび中東の諸国はアメリカや欧州と比べて財政、経済ともに良好な状態にあります。アジアの諸国における内需は依然として堅調で、政府は景気刺激策を実施するための財政面での柔軟性も持ち合わせています。世界の株式市場における株価の激しい修正は、良い銘柄を安い価格で買い付ける好機を作っていると思われれます。我々はポートフォリオにおける全ての銘柄について再評価し、今後の先行きの見通しを反映させて必要な調整を行います。

我々は引き続き、継続的に配当成長が可能で長期的に魅力的なトータル・リターンを生み出すことが可能な企業への投資を続けてまいります。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 当ファンドのリスクについて

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行います。投資対象とする投資信託証券は、値動きのある外国株式などを投資対象としているため、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

主なリスクとしては、下記のもの挙げられます。

■**価格変動リスク**：当ファンドは、実質的に外国株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

■**新興国市場への投資リスク**：当ファンドは、実質的に新興国市場への投資も行います。新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

■**為替変動リスク**：当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより、基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

※ 投資リスクは、上記に限定されるものではありません。

## お申込メモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

ファンド名	日興・スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型） / （資産成長型）
商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	新規申込：10万円以上1円単位 追加申込：1万円以上1円単位 スイッチング申込：1万円以上1円単位 全額スイッチング申込 1円以上
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	平成29年11月10日まで
決算日	[隔月分配型] 毎年1月・3月・5月・7月・9月・11月の各10日（休業日の場合は翌営業日） [資産成長型] 毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	[隔月分配型] 年6回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



[資産成長型] 年1回の決算時に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

※ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。

※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、販売会社の定める所定の日よりお支払いいたします。

※上記の分配方針は将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金 換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いいたします。

購入・換金申込不可日

販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、購入・換金（スイッチングを含みます。）申込の受付は行いません。

- ・香港の金融商品取引所および銀行の休業日等
- ・英国の金融商品取引所および銀行の休業日
- ・ケイマンの銀行の休業日

## ファンドの諸費用について

当ファンドのご購入や運用期間中には以下の費用がかかります。

\*課税関係については、投資信託説明書（交付目論見書）をご確認下さい。

\*下記手数料の合計額は、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

### ■ご購入時

購入手数料率はお申込金額に応じて、以下のように入ります。

- 1億円未満・・・・・・・・・・・・・・・・ 3.15%（税抜3.00%）
- 1億円以上5億円未満・・・・・・・・ 1.575%（税抜1.50%）
- 5億円以上10億円未満・・・・・・・・ 0.7875%（税抜0.75%）
- 10億円以上・・・・・・・・・・・・・・ 0.525%（税抜0.50%）

※購入手数料は別に定める場合この限りではありません。詳しくは販売会社までお問合せ下さい。

### ■ご換金（解約）時

換金（解約）手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

スイッチング手数料 ありません。（換金時と同様の課税上の取扱いとなります。）

### ■保有期間中（信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用）

信託報酬：日々の信託財産の純資産総額に対して年率0.89775%（税抜0.855%）を乗じて得た

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



額。また組入れる投資対象ファンドの合計純資産に対して年率 1.0%程度の費用が投資対象ファンドより負担されますので、実質的に負担する信託報酬等は年率 1.89775% (税込) 程度となります。

その他費用：監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに投資対象ファンドの組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。投資対象ファンドにおいては上記の他、受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社までお問い合わせください。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡します。必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ファンドの関係法人

### ■委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

加入協会（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会

信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

### ■受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社

（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

ファンドの受託者として、委託者の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

### ■販売会社 SMBC日興証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2251 号

加入協会 日本証券業協会 （社）日本証券投資顧問業協会 （社）金融先物取引業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、分配金の再投資、一部解約金・償還金の支払の取扱い等を行います。

お問い合わせ先：

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 電話番号 03-5435-8200 （受付時間：営業日の 9：00～17：00）

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。